

社会福祉法人みよし会 北野保育園

葛飾区柴又2-2-9 TEL 03-3608-5558

みんなのお母さんが 寅さんの妹「さくら」さんだったら!?

園長 徳増 昌宏

毎年5月の母の日に向けて、葛飾柴又寅さん記念館との協同企画として、北野保育園では今年も年長児が大好きなお母さんの似顔絵を描いて出展しました。

葛飾柴又といえば、『映画・男はつらいよ』でお馴染みの渥美清氏が演じる主人公・車寅次郎「寅さん」の町として、今も昔も変わらない下町情緒あふれる町です。寅さん記念館は、寅さんゆかりの寺としても知られるようになった柴又帝釈



天（経栄山 題経寺）や、柴又名物の草団子や鰻の蒲焼きなどと美味しいお店などが並ぶ参道、大正末期に趣ある書院造に西洋建築を取り入れ、和洋折衷を特徴に建てられた山本亭、さらには家族で遊べる江戸川河川敷や柴又公園と隣接しており、毎日海外や地方からの観光客が訪れ、日祭日には家族連れやおじいちゃんおばあちゃんでお賑わっています。3年前からは、4月には柴又帝釈天付近の江戸川土手斜面に真ピンクの芝桜が一面を彩っていて、最近では若い人達も観光に訪れています。

3月まで年中児だった子ども達が、4月になり年長児となって初めてのちょっと遠くへ足をのぼす行事。4月の中旬頃、いつも僕たち私たちを保育園に連れてきてくれたり、ご飯を作ってくれたり、お洗濯をしてくれたり、お休みの日には色々なところに連れて行ってくれたりと、たくさんお世話をしてくれている大好きなお母さんを思い浮かべながら似顔絵を描き、日頃の感謝の気持ちをカードで添えます。描いた似顔絵は寅さん記念館に園長が持って行き、ここからは寅さん記念館の仕事。館内の無料休憩所の壁に、子ども達が描いたお母



さんの似顔絵を額に入れて飾ります。展示期間は母の日をまたいで前後一週間。ゴールデンウィークには、地元のおじいちゃんおばあちゃん、小さいお子さんを連れのお父さんお母さん、海外や地方からの観光客の皆さんなど、たくさんの方が子ども達の絵を見てほっこりしてくれます（館長さんコメントより）。また、この連休を使って園児もご家族と一緒に見に行きます。子どもの絵には、何か人の心を豊かに穏やかにする力があります。



さて、北野保育園でも5月8日に年長児と一緒に寅さん記念館へ似顔絵を見に行ってきました。保育園を出発し、柴又帝釈天の参道を抜け、境内を歩いて寅さん記念館に到着です。だいたい片道20分ぐらい歩きます。参道を抜けるときは、周りのお店から「おはよう！どこいくの～♪」というご挨拶が飛んできたり、手を振ってくれます。

記念館に到着すると、まずは全員2列に並んで元気に「おはようございます！」のご挨拶です。それから館長さんのお話を聞いて、自分達が描いたお母さんの似顔絵を見ます。自分で描いた絵を見つけると嬉しそうに指をさしたり、お友達の絵を見たり、お母さんへの感謝の気持ちを声に出している子もいました。

そのあとは、毎年館長さんのお計らいで寅さん記念館ツアーをご案内頂きました。まずは『映画・男はつらいよ』の撮影風景や撮影技術をご紹介頂き、それから寅さんの舞台となった柴又帝釈天参道のジオラマを歩き、当時の色々な模型や音に耳を傾け「家が小さい！」「これかわいい！」「すごい！何か聞こえるよ!？」と興奮し、昔の人が押す人車を見ては「昔は電車じゃなかったんだ！」「この人力持ちだね!!」などなど興味を広げて、柴又の情緒あふれる昔を体験してきました。



この様に、この行事では地域のご協力を頂きながら、子ども達がお母さんへの感謝の気持ちを考える機会になればいいな。子ども達の絵を通じて家族の輪、地域の輪が広がるといいな。自分達が住む町「葛飾柴又」の良さと歴史を何となく感じてもらいながら、物心が付く頃には好きになってもらえていたらいいな。その様な思いで毎年実施しています。